

銅輸出はスクラップが減少の要因

自動車は生産・販売 住宅着工は増加一貨家と分譲住宅増受け
と引き継ぎ 銅減



本編 一郎氏

■国際概況

アルミ橋本健一郎氏リポート①
五月前半は金・原油高や、感染者数減少傾向からの中国ロックダウン緩和期待などのプラス材料もあったが、英中銀のマイナス成長見通しや中国景気先行き不透明を嫌気しLME銅相場はDOWN、五月十四日時点で九〇六四ドル(セツル)と月初価格より四一〇ドルDOWNの締め。

後半は世界的な景気後退懸念やFOMC議事録公開控える中、米利上げ期待増まったことなどのマイナス材料もあったが、LME在庫の減少に加え、米連邦準備制度理事会(FRB)の大幅利上げ懸念が織り込まれるなか、欧米株式市場が堅調に推移したと、ドル安などを好感しLME銅相場はUP、五月末日現在、後半スタート価格より五〇ドルUPの九五二〇ドル、六月スタート価格は二七万円。

■前月の経済指標
◆月間のドル/円レート (TTS)
二九・八六→二九・二二(円)。
◆自動車生産台数
生産動向統計によると、四月の自動車生産台数は前年比一九・三%減の五四万八、二五一台。輸出は前年同月比二二・九%減の二九万〇、九四〇台。

◆自動車販売台数
日本自動車販売協会連合会によると、五月の自動車販売台数(軽除く)は前年比二〇・三%減の二六万、一三五四台。
◆住宅着工台数
四月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比二・二%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比四・七%の減少となった。

◆貿易関連指標
新設住宅着工台数は七万六、一七九台。前年同月比二・二%増で、一四カ月連続の増加。

◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は電気類が

輸出は前年比八八・五%減の四三三、スクラップが三九%減の二万七、九七〇t。

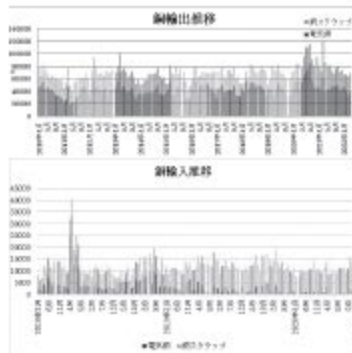
輸出は前年比八八・五%減の四三三、スクラップが三九%減の二万七、九七〇t。

輸出は前年比八八・五%減の四三三、スクラップが三九%減の二万七、九七〇t。

輸出は前年比八八・五%減の四三三、スクラップが三九%減の二万七、九七〇t。

輸出は前年比八八・五%減の四三三、スクラップが三九%減の二万七、九七〇t。

輸出は前年比八八・五%減の四三三、スクラップが三九%減の二万七、九七〇t。



LME銅、米金融政策、中国のロックダウン解除後の動向

(四国より続く)

【住宅着工戸数】
四月の新設住宅着工は、持家は減少したが、賃貸及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比二・二%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比七・七%の減少となった。
新設住宅着工戸数は七万六千九百九十九戸。前年同月比二・二%増。四月カ月連続の増加。
新設住宅着工床面積は六二・五五万㎡。前年同月比一・〇%増。三月カ月連続の増加。
季節調整済年率換算値は八八万七千戸。前月比四七・七%減。三月月よりの減少。

【自動車生産】
四月の自動車生産量は六万六千九百九十九台。前年同月比二・二%減少し、四月月連続のマイナスとなった。一年前の実績を上回ったのは、一四品目中六品目だけだった。
四月月連続の前年比マイナスイナスだが、例年四月の統計はGW（ゴールデンウィーク）前なのである傾向にある。数量的に二%は半日に満たない量なので誤差と捉えてよい。昨年は一昨年と比較し二桁増加だったため、二%減でも十分好景気が続いているとみている。

銅業は対前年同月比三・一%減の二万三、三四五トンだった。三月月よりのマイナスイナスだったが、昨年のトン数が歴代一位だったこともあり、同値は実質上一位となり高値となった。高値水準の自動車増産、コネクタは部品在庫が充足してきている。
黄銅棒は対前年同月比二・六%減の一万五、四五五トンだった。四月月連続でマイナスイナスとなった。

【銅業出荷】
日本電業工業会が発表した銅業出荷は前年比二・一%減の五万七、一〇〇・うち国内四一・四%減。輸出が三二・七%増。

【輸出】
銅輸出は電気銅が〇・三%増の三万九千九百八十九トン。スクラップが三九%減の二万七、九七〇・

【輸入】
銅輸入は電気銅が八八・五%減の四、三三・スクラップが三〇・二%増の一、万七、七二八トン。

【銅値】

・四月の自動車生産が一・九・三%減。五月国内販売台数が前年比二・〇・三%減。
上海のロックダウンによる半導体以外の中国からの部品供給の遅れのこと。六月から解除されるため挽回生産に期待。
・自動車生産は、四月月連続の前年比マイナスイナスだが、例年四月の統計はGW（ゴールデンウィーク）前なのである傾向。数量的

に二%は誤差と捉えてよい。また昨年は一昨年と比較し二桁増加だったため、二%減でも十分好景気が続いているとみている。

・日本電業工業会が発表した銅業出荷は前年比二・一%減の五万七、一〇〇・うち国内四一・四%減。輸出が三二・七%増。国内外共に減少。今後さらに減少するが注意。

・銅輸出は内電監銅に伴いスクラップが減少。銅輸入は電気銅が円安による割高感から減少。スクラップにシフト。

【スクラップ】
流通（二次回用）在庫は五月に銅建値が一・二八万円から一時二・三万円と急落（五月二十三日現在は一・二六万円）であったことや、前月に続きコロナによる生産減からのスクラップ発生額により出荷が無く在庫増。

需要額に關して上海ロックダウンによる中国の部品調達の遅れからの自動車生産、販売の大増減少傾向があるが、他部品に關しては挽回生産に向け在庫積み上げがもうかば減産は既成。また、上海のロックダウンが六月から解除されたことから、要する部品の回復が期待できると見られるため、メーカーは高値買いの傾向が今月も続く。

LME・為替予想

今日は以下の項目に左右される。

①米国の金融政策

②中国の動向（ロックダウン解除後の）

①に關しては、五月二、四日の連邦公開市場委員会（FOMC）議事要録で、「大半の参加者」が六月と七月の会合でそれぞれ〇・五〇%ポイントの追加利上げを行うことが「適切となる可能性が高い」との見解を示したこと、現在のインフレ率がFRB目標の二%の三倍超で推移していること、五月の雇用統計が予想上回る三九万人増だったことを背景に、六月の利上げは予定通り行われるとの予想から、上昇が相測されるのではないかと。

②に關しては

六月一日にロックダウンが解除され、多大な影響を受けていた中国経済、欧米日の自動車メーカーが挽回生産に向けて動き出すとの予想から、開始は引き締まるのではないかと。

これらを踏まえた六月の銅価格は九、五〇〇～一、二〇〇ドル（セツル）との予想。

ドル円値は二二六円～二三五円（TTM）

台を予想。

銅建値に關しては二・四万～二・五三万円程度と予測している。